

東日本ユニオン大宮 ラ・マヒストラル

JR東日本労働組合
大宮地方本部
発行責任者:渡辺 純
2020年12月22日 No.31

労働条件の維持・向上と組織拡大を目指す！ 第8回定期大会開催

大宮地本は12月19日「さいたま市産業振興会館」において「第8回定期大会」を開催しました。

中央本部より生田書記長、来賓として大宮地本退職者連絡会海老沼会長にお越しいただきました。

新型コロナウイルスの感染拡大している中、大会の開催が危ぶまれましたが、万全な感染予防対策を行い無事開催となりました。

渡辺執行委員長は「コロナ禍での一年間の活動お疲れさまでした。特に『2020年度年末手当』の闘いでは、組合員のみなさまに本部のホームページと檄布に怒りの声をあげてもらいました。しかし、追加支給の闘いを含め満額回答を勝ちとれず、2.2ヶ月分の回答で妥結となりましたが、他地本ではこの取り組みの最中に組織拡大も実現するという成果もありました。この力で来る「2021春闘」勝利へ向けて頑張ろう！」とあいさつを述べました。

質疑では、業務委託駅勤務の組合員から「接客用のコートが共用であり、新型コロナウイルス感染対策上問題がある。そして、女性社員が配属されているが、寝室の使用方に不備がある」運輸職場の組合員からは「事務職効率化の問題点」など、様々な発言がありました。

渡辺執行委員長は「様々な課題が出されたが、解決に向けて頑張ろう！」と集約し、大会を締めくくり、新たなスタートを切りました。



全組合員で課題の解決に向けて取り組んでいこう！